

ときがわ町社会教育委員会議録

会議の名称	令和元年度第3回社会教育委員会議
主な議題	・報告事項 ・協議事項
開催日時	令和2年2月27日(木) 午後2時～午後4時
開催場所	玉川公民館2階 講義室
会議録の公開(非公開・一部非公開)とその理由	公開(要点筆記)
出席委員	委員長 谷野裕子 副委員長 浅見愛子 委員 山下悦男、内田文江、強瀬広子、市石智明、林雄一
事務局	正木彰生涯学習課長、新井淳子生涯学習課主幹、久保田敏也社会教育指導員
<p>【審議等内容又は概要】</p> <p>1 開会 浅見副委員長</p> <p>2 あいさつ 谷野裕子委員長</p> <p>3 会議録署名員選出 内田委員、林委員に決定。</p> <p>4 報告事項</p> <p>(1) 事務局報告について</p> <p>説明者 事務局 新井淳子主幹</p> <p>概要 第2回会議について報告を行い。これを踏まえ本日の協議に入りたい旨を説明。</p> <p>意見等 意見は特になし、了承を得る。</p> <p>5 協議事項</p> <p>(1) 令和2年度比企地区連合社会教育委員会事業について</p> <p>説明者 事務局 新井淳子主幹</p> <p>概要 前年に引き続き、今年11月26日(木)にときがわ町を会場として実施される令和2年度比企地区連合社会教育研究集会の内容、方向性等についてご意見、ご協議いただきたい。</p> <p>意見等 (委員) 分科会はあった方がいいと思うが、事例発表をするために発表事例を作るのは大変。普段やっていることを発表しないと(意味がない)。社会教育委員としての悩み、何をやっていいか分からないという話を(特に新任の委員から)よく聞くので、最初からグループ討議を行うのも1つの方法かもしれない。</p> <p>(委員) 講師(八木原先生、伊藤先生、鈴木まこと先生等)を呼んで、改めて「社会教育とは何ぞや」と言うところを聞くのはどうだろう。</p> <p>(委員長) 1案として事例発表、2案として講演会・分科会、3案として最初から分科会(テーマを決め、5つのグループくらいに分けて実施、委員のみで特に講師は呼ばずに行う。)という意見にまとめられると思うが。</p> <p>(事務局) 今年度の関プロの大会宣言を参考にテーマを決めても良いのではないかと、「人</p>	

生100年時代、新たな時代への社会教育を目指して」としていた。
(委員長) 話し合いのテーマとして大会宣言の中にある色々なキーワードを散りばめてはどうか。

(委員) 社会教育の実践においては、「外国人、多文化、多様性、人とのつながりが希薄、ご近所付き合い・世代間交流・絆が大切」などが考えられる。今と昔は変わってきたのか。

(事務局) これまでの社会教育、これからの社会教育と言っても、それは普遍的なものであり、新たな時代の社会教育と言っても実は変わらないものではないだろうか。社会教育と学校教育の連携、最近ではコミュニティスクール(学校運営協議会制度)を推進している。学校と保護者、地域の方々が共に知恵を出し合うことが学校運営にも大切であり、「地域とともにある学校づくり」ということも社会教育につながっていくと思う。

(委員長) まとめ: ときがわ町担当の比企地区連合社会教育研究集会は、初めに全体会で八木原先生をファシリテーターに「昔の社会教育と今、これからの社会教育」のようなテーマで提案をしてもらい、その後、5つの分科会を設け、委員は2名ずつに分かれ、分科会の舵取り的な役割りを担う。分科会のテーマとしては、前述の大会宣言の中から5つ程度のキーワードを拾い実施することとする。

- 分科会テーマ
- ①「Society5.0(超スマート社会)」AIやIT技術の進展
 - ②「人生100年の時代」
 - ③「多文化化・多様化」
 - ④「地域の人々の創造的な活動を支援」
 - ⑤「地域社会における有機的なネットワークの形成」

(2) その他

・特になし

6 次回会議について

次回の会議は、委員改選時期ということで5月中には開催したい。現職委員におかれては引き続きご指導、ご協力をお願いしたい。

7 閉会 正木彰生涯学習課長

その他審議会等の長が必要と認めた事項	配布資料 ・令和元年度第3回ときがわ町社会教育委員会会議資料
--------------------	-----------------------------------

上記内容について、相違ないことを証します。

令和 年 月 日

会議録署名委員 _____

会議録署名委員 _____

ときがわ町社会教育委員会委員長 _____